

# 令和3年度 公益社団法人 京都鴨沂会 事業報告

令和3年度は、コロナ感染症の拡大によって京都府における緊急事態措置が、4月25日、8月20日の2回発令され、鴨沂会館の利用を休止することになった。高校教育振興事業と会誌発行以外の公益目的事業の実施が制限されたが、法人業務、公益目的事業、収益事業へのICT導入による新しい業務環境の整備が進み、万全の感染症防止対策「新しい生活様式」での公益目的事業を実施した。

## I 公益目的事業

### (公1) 高等学校教育を振興するための奨学金及び教育研究助成金

高等学校教育の振興と学力向上に寄与し、社会の発展に寄与する人材を育成し、わが国の教育振興に貢献することを目的として、次の事業を行う。

#### ア 奨学金（公募）

「京都鴨沂会奨学金」 月額 10,000円

勉強意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な公立高等学校生徒に対して奨学金を給付する。

京都公立高校9校から19名（3年9名、2年10名）の応募があり、有識者で構成される選考委員会により慎重に審議し、7

校13名（3年生6名、2年生7名）を選出し、理事会の議を経てこれらの生徒への奨学金給付を決定し、月額1万円の給付を実施した。

「大学進学支援金」 30,000円

勉強意欲がありながら経済的理由により大学への進学をためらう高校生に対して、大学への進学を支援する事業を新たに実施する。

令和3年度は、コロナ禍の最前線で奮闘される医師・看護師など医療従事者を目標として大学進学する生徒を対象として公募し、京都公立高校3校から5名の応募があり、選考委員会により慎重に審議し、理事会の議を経て応募者5名を決定し、支援金3万円の給付を実施した。

#### イ 教育研究の支援（公募）

高校独自の教育特別事業として、①授業内容の向上をめざす研究、②教員の資質向上をめざす研究に対して必要資金の一部を1件10万円以内で、2件を限度として助成する。

「京都鴨沂会教育研究助成金」

令和3年度は、下記の2校の応募があり、選考委員会により慎重に審議し、理事会の議を経て2校に助成費の給付を実施した。

京都市立銅駝美術工芸高等学校 5万円

「iPadを活用したハイブリッドオンラインによる双方向型教育活動の実践」

京都府立鴨沂高等学校 10万円

「生徒の科学的リテラシーの自発的な育成を促す探究学習の開発」

## ア 芸術・伝統文化講習会とボランティア活動

高齢者福祉、留学生支援など地域活性化に資するボランティア活動のきっかけ作りと担い手の育成のための講習会を開催する。

### 「京都鴨沂会文化教室」

茶道教室 講師 吉田 宗翠  
華道教室 講師 中谷 豊甫  
能楽教室 講師 惣明 貞助  
香道教室 講師 早川 光菜  
紹ざし教室 講師 北村悠紀子  
ハワイアンフラ教室 講師 ユミコ レイモミ

文化教室は、科目によって、マイククロ飛沫や身体の密着度などが異なるので、それらを勘案しながら開講・休講の判断を講師と相談して決めた。その結果、科目ごとに年度を通して休講、状況に応じて数回開講、緊急事態宣言発出中以外は通常通り開講と科目によって異なる対応がとられた。

## イ 地域活性化に資する自主的グループ活動の支援

学習効果を地域に還元する実践プログラムを自主的に創りあげる活動の側面的なサポートを行う。

令和3年度は、地域活性化グループ活動の自粛により、助成費への応募がなかった。

## ウ 高齢者福祉ボランティア活動の推進

ボランティア活動の情報提供と実践のための福祉教育および福祉ボランティア活動のコーディネートを行う事業である。令和3年度は、外部の人の受け入れを制限する高齢者福祉施設もあり、例年40件に及ぶ福祉施設、医療機関などへのボランティア要員の派遣と助成事業は自粛し実施されなかった。

## エ 留学生の伝統文化学習と生活適応のための支援活動

文化教室で培った伝統文化の知識と手技をコミュニケーションツールとして外国人留学生に対する日本伝統文化の育成に寄与し、生活適応上の指導助言など留学生支援により国際理解を深め地域社会の活性化に貢献する事業である。

### 「高校留学生のための日本伝統文化体験学習会」

令和4年2月26日 於 鴨沂会館

茶道 裏千家 講師 吉田 宗翠

「講師による薄茶点前の実演と呈茶及び留学生の益略点前の実習」

華道 未生流笹岡 講師 中谷豊甫

「伝統文化を踏まえた生け花の実習」

書道 講師 中村美知生

「書道―基礎知識・基礎技術・作品制作」

令和3年度は、外国人留学生の出入国が制限されているため、日本滞在中のネパール、パキスタンから立命館高校に留学している高校生4名、付き添い日本人大学生4名及びAFS日本協会京都支部から2名が参加して伝統文化学習会が行われた。副会長挨拶と留

学生、講師その他の参加者の自己紹介の後、日本伝統文化についての講義と実習を行なった。実習終了後、留学生は伝統文化体験結果の発表と感想文の作成を行い、写真撮影をして閉会した。

### (公3) 生涯学習を支援するための公開講演

令和3年度教養講座はコロナ対策として集会及び施設利用の制限により開催できなかったため、鴨沂会誌158号に誌上開催として掲載した。

第52回 教養講座 稲垣 暢也 京都大学教授

「人生百年時代、健康寿命をいかに伸ばすか」

メタボ予防からフレイル予防へのギアチェンジ

第53回 教養講座 村山 敦

公益社団法人日本工芸会近畿支部長

「伝統工芸の景勝と発展について」

第54回 教養講座 竹崎 陽子

元日本薬理学会誌編集者

「大先輩「井上 秀」先生

—京都府立高等女学校 明治26年卒—

### (公4) 文化芸術及び生涯学習支援等の情報提供

公益法人としての事業活動の一般への開示の目的に加えて、伝統文化芸術、環境、福祉に関する論文を有識者による編集委員会により編集し、文化芸術及び生涯学習支援のための情報提供とともに教育史、女性史の資料として文化振興に貢献する目的で以下の事業を行った。

#### ア 鴨沂会誌158号刊行

令和3年度刊行の鴨沂会誌158号には、教養講座の論文、高校生、奨学生の作文、伝統文化学習、ボランティア活動等本年度の公益目的事業の結果を掲載した。公益法人としての事業及び会計を公開するために、令和2年度事業報告、会務報告、収支決算、および令和3年度事業計画、予算を掲載している。

#### イ 会誌および史料の保存管理

明治20年以來の150冊を超える鴨沂会誌全巻とともに編集資料の保存管理を行なっている。

#### II 会報の刊行その他会員向け事業

##### ア 鴨沂会報第18号の刊行

法人活動及び会員の近況を会員へ報告する目的で会報を編集し、全会員に配布した。令和3年度は、リモートワークにより会報編集業務が行われ、ほぼ例年通り刊行した。

##### イ 会員総会の開催

第131回京都鴨沂会年会における会員総会は、感染症防止のため開催を自粛した。

#### III 収益事業

##### ホール、会議室及び駐車場の賃貸

鴨沂会館のホール及び会議室等は、オーケストラ、室内楽、コーラス、舞踏などの常設練習場、講演会、会議、伝統芸能の教室など文化施設として利用されている。また、利用者の便宜と安全のため駐車場を整備し一般の利用に供した。

「新型コロナウイルス感染症対策に伴う鴨沂会館の休館」

令和2年2月度に引きつづき新型コロナウイルス感染症防止対策として、施設の使用には「三密」を避け、手指消毒、体温チェックなどの感染防止対策を継続した。

緊急事態宣言が出された4月25日から6月20日の期間は、理事会又は代表理事3名の合議により方策を決定、ホームページにて鴨沂会館利用の休止を知らせた。緊急事態宣言終了後の6月21日からは一時再開したが、8月22日から9月30日には再度緊急事態宣言が出され同様の措置をとった。

10月からの緊急事態宣言の解除に伴い、感染症防止対策を講じて鴨沂会館の利用を再開した。令和4年に新型コロナウイルス感染症が再び拡大したが、会館の十分な感染症対策を実施し、利用者にも感染防止対応を求めて業務を継続した。

# 令和3年度 公益社団法人 京都鴨沂会 会務報告

## 令和3年度理事会及び社員総会議事録概要

### 書面決議による令和2年度社員総会議事録

1. 提案者 会長 家森 幸男
1. 社員総会の決議があったものとみなされた事項の内容

議案第1号 令和2年度事業・会務報告の承認  
議案第2号 令和2年度収支決算報告の承認

#### 規程議案

1. 社員総会の決議があったものとみなされた日  
令和2年5月22日

1. 議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名  
会長 家森 幸男

上記提案者が決議があったものとみなされた事項の内容について提案をし、当該提案につき社員31名全員が書面により同意の意思表示をしたので、公益社団法人京都鴨沂会定款第21条の規定に基づき、社員総会の決議があったものとみなされた。

令和3年5月22日

議事録作成者 公益社団法人京都鴨沂会家森 幸男

### 第1回理事会 令和3年4月21日（水）書面会議

1. 令和2年度公益社団法人京都鴨沂会事業報告の承認
  2. 令和2年度公益社団法人京都鴨沂会会務報告の承認
  3. 令和2年度公益社団法人京都鴨沂会収支報告の承認
- ### 第2回理事会 令和3年5月12日（水）書面会議

1. 令和2年度公益社団法人京都鴨沂会定時社員総会開催の形式の承認

#### 書面会議の形式とする

2. 令和2年度定時社員総会議題決定の承認
- 第1号議案 令和2年度事業・会務報告の承認  
第2号議案 令和2年度収支決算報告の承認
- 報告1 令和3年度事業計画  
報告2 令和3年度収支予算
3. 令和3年度京都鴨沂会奨学生選考基準の承認

### 第3回理事会議事録 令和3年6月6日(日)

対面およびオンライン会議

1. 緊急事態宣言・まん延防止等重点措置発出中の施設利用対策

公益目的事業及び収益事業の会館利用は、公立施設の利用基準に準じ、理事会又は代表理事3名の合議により方策を決定する。緊急事態宣言発出中は原則会館利用を休止し、まん延防止等重点措置中は、利用定員を削減、利用時間を短縮して利用を継続する。

まん延防止等重点措置 (4月12日～4月24日)

緊急事態宣言 (4月25日～6月20日)

6月7日からは合唱、吹奏楽の様に発声や深い呼吸を伴う練習等を除き、限定的に業務を再開することにした。

2. 京都鴨沂会文化教室

香道教室を新設し謡曲教室に代えて能楽教室を開設することを承認した。

3. 持続化給付金・ICT導入助成金について

持続化給付金(145万円)、ICT(情報通信技術)

導入助成金(75万円)は入金済み

### 第4回理事会議事録 令和3年7月10日(土)

対面およびオンライン会議

1. 令和3年度京都鴨沂会奨学生承認

京都公立高校9校19名の応募者から選出された7

校13名(3年生6名、2年生7名)を奨学生として採用することを決定

2. 令和3年度教育支援助成費

京都公立高校教育担当者応募の2件採択(10万円、5万円各1件)を決定

3. まん延防止等重点措置解除後の鴨沂会館利用について

まん延防止等重点措置(6月21日から7月12日)施行中の施設利用と解除後の利用再開の見通しに施設利用時間を午後8時までとし、利用定員を50%以下(合唱や吹奏楽は40%以下)にする感染症対策は、利用者の理解が得られたものとし、重点措置解除後も継続する。

4. 京都鴨沂会あり方検討委員会設置要綱の承認

公益目的事業・収益事業(賛助会員規定の見直しを含む)の在り方を検討する「京都鴨沂会あり方検討委員会設置要綱」を審議し、委員に、村山・矢島、川井・岸本・佐々木・二井理事が選出された。

### 第5回理事会 令和3年11月13日(土)

対面およびオンライン会議

1. コロナ感染症第5波に対する対策

8月2日からまん延防止等重点措置、8月20日から緊急事態宣言が発出され、代表理事3名の合議により、京都府の措置に従って対応した旨報告された。

2. 令和3年度定時社員総会及び令和4年度臨時社員総

会の会期・開催場所決定

会期 令和4年5月21日 会場 鴨沂会館

3. 令和4・5年度選挙管理委員会委員6名を承認した。

安井 冽 石田眞佐子 北丸 幸子

佐々木佳継 竹崎 陽子 西尾 齊

4. 令和3年度大学進学支援金の公募

令和3年度は、医療従事者を目標として大学進学

する生徒に進学支援金を給付することを決定

5. 令和3年度教養講座の演題と講師の決定

第55回 稲垣千代子 関西医科大学名誉教授

「認知症のおくすり」

第56回 末川協（高校35期）建築家

「祇園祭山鉾の復興」

文書講座として鴨沂会誌159号に掲載する。

6. 令和4年度教養講座の演題と講師の決定

第57回 岡田 知弘 京大名誉教授

「これからの京都」

令和4年5月21日に開催の年会記念公演とする。

7. 百歳会員へのお祝い

贈呈者2名について了承した。

**第6回理事会議事録** 令和4年2月19日（土）

対面およびオンライン会議

1. 選挙管理委員会報告

令和4・5年度代議員の選挙

代議員選挙告示2月22日、投票締切3月31日

2. 令和4年度事業計画案作成の方針

令和3年度事業概要の報告に基づき作成する。

3. 令和4年度予算作成の方針

令和3年度総予算とほぼ同額とする。

教育事業費は大学進学支援金として30万円増額する。

会誌の広告は今後募集しない。

4. 高校留学生日本伝統文化体験学習会

留学生4名とボランティア学生4名が参加する令和4年2月26日に開催される学習会の授業内容と講師が示され、審議の結果承認した。

第7回理事会 令和4年3月26日（火）文書会議

第1号議案 令和4年度公益社団法人京都鴨沂会事業計画の承認

第2号議案 令和4年度公益社団法人京都鴨沂会収支予算の承認

令和4年度監査委員会 令和4年4月23日（土）鴨沂会館

令和3年度公益社団法人京都鴨沂会事業・会務報告及び収支報告は、監事及び公認会計士によって令和3年度の業務、理事会議事録、会計帳簿及び関係書類の閲覧等を必要と思われる監査手続きを用いて検討された。

**第8回理事会** 令和4年4月25日（月）文書会議

第1号議案 令和3年度公益社団法人京都鴨沂会事業・

第1号議案 令和3年度公益社団法人京都鴨沂会事業・

第1号議案 令和3年度公益社団法人京都鴨沂会事業・

第1号議案 令和3年度公益社団法人京都鴨沂会事業・

第1号議案 令和3年度公益社団法人京都鴨沂会事業・

第1号議案 令和3年度公益社団法人京都鴨沂会事業・

第1号議案 令和3年度公益社団法人京都鴨沂会事業・

第1号議案 令和3年度公益社団法人京都鴨沂会事業・

## 会務報告の承認

第2号議案 令和3年度公益社団法人京都鴨沂会収支報告の承認

## 第3号議案

令和4・5年度代議員の承認

第9回理事会 令和4年5月14日（土）

対面およびオンライン会議

1. 令和4年度奨学生の採択の件

令和3年度京都鴨沂会奨学生の公募に対して京都公立高校19校から19名の応募があり、有識者で構成される選考委員会により慎重に審議し、7校13名（3年生6名、2年生7名）を選出し、理事会の議を経てこれらの生徒への奨学金給付を決定。

2. 令和4年度大学進学支援金の件

令和3年度と同様に医師・医療分野とする提案がありました承認された。

3. 社員総会の役割分担の件

4. ピアノ修理の件

本館3階ホールのグランドピノの修理が稟議書および比較見積書をもとに承認された。

## 令和3年度公益社団法人京都鴨沂会

## 定時社員総会議事録

開催日時 令和4年5月21日（土） 13時30分より

開催場所 鴨沂会館新館ホール

1. 定款第16条に基づき、議長に会長家森幸男がこれにあたる。

2. 議長は、出席者総数25名（うち委任状提出者13名）で令和3年度社員総数28名のうちの2分の1以上の定足数に達していることを確認し、定款第17条に基づき本会の成立を宣言

3. 定款第19条2項に基づき、議事録署名人として議長及び出席した理事村山敦、矢島芳枝の2名を指名

4. 議決事項

第1号議案 令和3年度事業・会務報告の承認

令和3年度事業・会務報告書に基づき、村山敦副会長より令和3年度の本会事業並びに会務が報告され、報告書は本年度事業内容を正しく示されているとの監査結果が木村正監事から報告された。第1号議案は採決の結果、全員賛成により承認された。

第2号議案 令和3年度公収支決算報告の承認

令和3年度収支決算報告書に基づき、木村正会計担当役員から令和3年度の本会収支決算内容を説明、公益目的事業費比率、内部留保金ともに基準を満たしてい



ることが報告された。本年度収支決算は、監事及び公認会計士の監査の結果、当法人の収支状況を正しく示していると認められたことが木村正監事から報告された。第2号議案は採決の結果、全員賛成により承認された。

6. 沂会の収支予算が報告された。  
14時全議案を終了し、家森幸男議長が閉会を宣言した。

### 第3号議案 令和4・5年度代議員選挙結果の承認

安井洩選挙管理委員長より、選挙管理規程に従い郵便投票による代議員選挙の結果、令和4・5年度代議員31名を選定したことが報告され、議案が承認された。

石田眞佐子	市川 珠子	上野まき子
圓城 新子	河合 勝彦	川井 秀一
河田 悌一	岸本 康	北丸 幸子
木村 正	佐々木佳継	竹崎 陽子
谷口 良信	津田ゆかり	戸川 隆博
西尾 齊	野崎 治子	福田 彩乃
福田 健	福田 智子	二井 徹
松下 勇	松村 直行	村山 敦
森 實	八木千賀子	矢島 芳枝
安井 洩	安田 行秀	家森 幸男
吉川 能信		

### 5. 報告事項

村山敦副会長より、令和4年度公益社団法人京都鴨沂会の事業計画が報告された。

木村正監事より、令和4年度公益社団法人京都鴨

議長	家森 幸男
議事録署名人	村山 敦
議事録署名人	矢島 芳枝

# 令和3年度 公益社団法人 京都鴨沂会 収支決算報告

## 貸借対照表内訳表

(令和4年3月31日現在)

科 目	公益会計	収益会計	法人会計	内部取引	合計
<b>I 資産の部</b>					
<b>1 流動資産</b>					
現金	13,020	94,861			107,881
郵便貯金	476,060	3,609,070			4,085,130
流動資産合計	489,080	3,703,931			4,193,011
<b>1 固定資産</b>					
(1)基本財産					0
基本財産	27,385,495	24,798,455			52,183,950
基本財産合計	27,385,495	24,798,455			52,183,950
(2)特定資産					
建物維持引当資産	31,563,684	38,579,060	0		70,142,744
特定資産合計	31,563,684	38,579,060	0		70,142,744
(3)その他固定資産					0
建物	10,423,374	9,265,221	3,474,458		23,163,053
建物附属設備	6,223	5,531	2,074		13,828
什器備品	645,247	573,553	215,083		1,433,883
電話加入権	72,800				72,800
その他固定資産合計	11,147,644	9,844,305	3,691,615		24,683,564
固定資産合計	70,097,823	73,221,820	3,691,615		147,011,258
資産合計	70,585,903	76,925,751	3,691,615		151,203,269
<b>II 負債の部</b>					
<b>1 流動負債</b>					
未払金	0	701,100			701,100
預り金	75,358	0			75,358
未払法人税等		574,700			574,700
流動負債合計	75,358	1,275,800			1,351,158
負債合計	75,358	1,275,800			1,351,158
<b>III 正味財産の部</b>					0
<b>2 一般正味財産</b>	70,510,545	75,649,951	3,691,615		149,852,111
正味財産合計	70,510,545	75,649,951	3,691,615		149,852,111
負債及び正味財産合計	70,585,903	76,925,751	3,691,615		151,203,269

**正味財産増減計算書内訳表**  
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位 円)

科 目	公益会計		収益会計		法人会計	内部取引	合計
	公益1～4	収益1	その他				
<b>I 一般正味財産増減の部</b>							
1 経常増減の部							
(1) 経常利益							
① 基本財産運用益	581	0			0		581
基本財産受取利息	581				0		581
② 受取会費	649,784	0			0	0	649,784
正会員受取会費	649,784				0		649,784
③ 特定財産運用益	0	0			110,186		110,186
特定財産受取利息	0				110,186		110,186
④ 事業収益	456,450	11,215,825	187,050				11,859,325
講習会収入	436,450		187,050				623,500
貸室事業収入		11,215,825					11,215,825
会誌事業収益	20,000						20,000
⑤ 受取補助金	750,000	1,450,000					2,200,000
受取国庫助成金		1,200,000					1,200,000
受取地方公共団体助成金		250,000					250,000
受取民間助成金	750,000						750,000
⑤ 雑収益	0	1,122,690			0		1,122,690
受取利息	0	0			0		0
雑収入	0	1,122,690					1,122,690
⑥ 寄付金収益	793,820						793,820
受取寄付金	793,820						793,820
経常収益計	2,650,635	13,788,515	187,050		110,186	0	16,736,386
(2) 経常費用							
① 事業費							
事業経費	10,016,271	7,978,731					17,995,002
給料手当	1,969,273	1,575,418					3,544,691
福利厚生費	10,092	39,864					49,956
旅費交通費	87,736	87,736					175,472
通信運搬費	87,500	345,623					433,123
消耗什器備品費	26,400	104,280					130,680
消耗品費	93,955	371,121					465,076
修繕費	37,703	182,970					220,673
会誌発行費	1,049,829	0					1,049,829
光熱水料費	498,039	1,337,327					1,835,366
租税公課	736,474	1,191,355					1,927,829
保険料	77,454	68,848					146,302
雑費	31,253	31,254					62,507
事務委託費	0	0					0
減価償却費	1,943,243	1,727,326					3,670,569
業務委託費	793,527	915,609					1,709,136
文化事業費	713,793	0					713,793
教育援助費	1,860,000						1,860,000
事業費計	10,016,271	7,978,731					17,995,002

科 目	公益会計	収益会計		法人会計	内部取引	合計
	公益1～4	収益1	その他			
②管理費						
給与手当				35,805		35,805
福利厚生費				505		505
通信運搬費				4,375		4,375
消耗什器備品費				1,320		1,320
消耗品費				4,698		4,698
修繕費				1,109		1,109
光熱水料費				9,223		9,223
業務委託費				7,630		7,630
会議費				0		0
事務委託費				418,000		418,000
旅費交通費	0			43,868		43,868
租税公課				238,271		238,271
減価償却費	0			647,747		647,747
保険料		0		25,818		25,818
総会費				0		0
慶弔費	0			30,000		30,000
管理費計		0		1,468,369	0	1,468,369
③他会計への繰入出額	△3,212,304	3,212,304		0	0	0
他会計への繰入出額	△3,212,304	3,212,304			0	0
経常費用計	6,803,967	11,191,035		1,468,369	0	19,463,371
評損調整前当期経常増減額	△4,153,332	2,597,480	187,050	△1,358,183		△2,726,985
評価損益等計						
当期経常増減額	△4,153,332	2,597,480	187,050	△1,358,183		△2,726,985
2 経常外増減の部						
(1)経常外利益						0
経常外収益計	0	0				0
(2)経常外費用						
経常外費用計	0	0				0
当期経常外増減額						0
3 投資活動収支の部						
(1)投資活動収入						
建物維持引当資産取得収入	0					0
(2)投資活動支出						
建物維持引当資産取得支出	0					0
税引前一般正味財産増減額	△4,153,332	2,597,480	187,050	△1,358,183		△2,726,985
法人税等		574,700				574,700
当期一般正味財産増減額	△4,153,332	2,022,780	187,050	△1,358,183		△3,301,685
一般正味財産期首残高	66,220,949	86,588,313		344,534		153,153,796
一般正味財産期末残高	62,067,617	88,611,093	187,050	△1,013,649		149,852,111
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額						0
指定正味財産期首残高						0
指定正味財産期末残高						0
III 正味財産期末残高	62,067,617	88,611,093	187,050	△1,013,649		149,852,111

## 財務諸表に対する注記

### 重要な会計処理方針

- (1) 固定資産の減価償却方法は定額法による。
- (2) 消費税の会計処理は税込み処理による。

### 附属明細書

基本財産及び特定財産の増減額及びその残高は、次の通りである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土 地	45,088,100	0	0	45,088,100
定期預金	7,095,850	0	0	7,095,850
		0	0	
小 計	52,183,950	0	0	52,183,950
特定財産				
預 金	72,032,950	0	890,206	70,142,744
小 計	72,032,950	0	890,206	70,142,744
合 計	124,216,900	0	890,206	122,326,694

固定資産の取得価額、減価償却累計及び期末残高は、次の通りである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	202,651,536	179,488,483	23,163,053
建物附属設備	43,820,764	43,806,936	13,828
器具及び備品	24,650,180	23,216,297	1,433,883
合 計	271,122,480	246,511,716	24,610,764

**財 産 目 録**  
(令和4年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金 預金 通常貯金	手元保管	運転資金として	107,881	
		ゆうちょ銀行	運転資金として	83,033	
				3,609,070	
				300,481	
				20,560	
		振替貯金	ゆうちょ銀行(会費)	68,126	
	ゆうちょ銀行(寄付金)	3,860			
流動資産合計				4,193,011	
(固定資産)	基本財産	土地	上京区荒神町・宮垣町	45,088,100	
		普通預金	三井住友信託銀行京都支店	1,520,000	
	定期預金	ダイワネクスト銀行	谷口基金	500,000	
	特定資産	普通預金	ダイワネクスト銀行	4,650,000	
			ダイワネクスト銀行	420,000	
			三井住友信託銀行京都支店	2,157	
			みずほ銀行京都中央支店	3,693	
		計		恩賜金	52,183,950
		定期預金	三井住友信託銀行京都支店	建物維持引当資産・退職給付引当資産	22,000,000
		その他固定資産	計 建物 建物付属設備 什器備品 電話加入権	みずほ銀行京都支店	10,154,804
				ダイワネクスト銀行	4,545,346
				京都中央信用金庫修学院支店	5,070,816
				ゆうちょ銀行	913,000
	みずほ信託銀行京都支店			5,767,731	
	大和証券京都支店			20,367,300	
	ゆうちょ銀行			826,000	
	三井住友信託銀行京都支店			267,340	
	みずほ信託銀行京都支店			9,518	
	みずほ銀行京都中央支店			463	
	京都銀行出町支店			5,216	
	ダイワネクスト銀行			215,210	
				70,142,744	
				23,163,053	
				13,828	
		1,433,883			
		72,800			
	固定資産合計				147,010,258
資産合計				151,203,269	
(流動負債)	未払金 預り金 未払法人税等	消費税	給与・消費税未払い分	701,100	
		源泉所得税	従業員等の源泉所得税預り分	75,358	
				574,700	
流動負債合計				1,351,158	
(固定負債)				0	
固定負債合計				0	
負債合計				1,351,158	
正味財産				149,852,111	
負債および正味財産合計				151,203,269	

## 令和3年度 業務及び会計監査報告書

公益社団法人京都鴨沂会

会長 家森 幸男 殿


令和3年度業務を理事会議事録及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて検討しました。その結果、令和3年度業務が報告書に正しく示されていると認めます。


令和3年度会計帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の正確性を検討、その結果、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等が会計帳簿の記載と一致し、法人の収支状況及び財産状況を正しく示しているものと認めます。

令和4年4月23日

公益社団法人京都鴨沂会

監事 木村 正 

監事 竹崎 陽子 

監事 八木 千賀子 

## 令和3年度会計監査報告書

公益社団法人京都鴨沂会

会長 家森 幸男 殿

令和3年度会計帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の正確性を検討しました。その結果、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等が会計帳簿の記載と一致し、法人の収支状況及び財産状況を正しく示しているものと認めます。

令和4年4月23日

公認会計士 山田陽子事務所

公認会計士 山田陽子





# 令和4年度 公益社団法人 京都鴨沂会 事業計画

公益社団法人京都鴨沂会は、地域社会の健全な発展を図り、公共の利益に寄与することを目的とし、教育・文化・芸術の振興、社会福祉の向上に資する公益目的事業を行なっている。令和4年度は、法人業務、公益目的事業、収益事業への〔C〕導入による新しい業務環境を整備し、新型コロナウイルス感染症防止対策に万全を期し、公益社団法人の事業計画を実施することを基本方針とする。

## I 公益目的事業

### (公1) 高等学校教育を振興するための奨学金及び教育研究助成金

高等学校教育の振興と学力向上に寄与し、社会の発展に寄与する人材を育成し、わが国の教育振興に貢献することを目的として、次の事業を行う。

#### ア 奨学金（公募）

奨学意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な公立高等学校生徒に対して奨学金を給付する。

「京都鴨沂会奨学金」 月額 10,000円

「京都鴨沂会大学進学支援金」 30,000円

#### イ 教育研究の支援（公募）

「京都鴨沂会教育研究支援助成金」

高校独自の教育特別事業として、①授業内容の向上をめざす研究、②教員の資質向上をめざす研究に対して必要資金の一部を助成する。1件20万円以内で、2件を限度とする。

### (公2) 高齢者福祉及び国際相互理解の促進に資するため

#### の芸術・伝統文化講習会とボランティア活動

地域活性化に資するボランティア活動の支援を目的とする。ボランティア活動のきっかけ作りとリーダーの育成のために伝統文化や音楽の講習会を開催し、習得した知識と手を活かして活動する地域活性化ボランティア、高齢者福祉および外国人留学生支援ボランティアを支援し地域社会の健全な発展に貢献する。

#### ア 芸術・伝統文化講習会の開催

高齢者福祉、留学生支援など地域活性化に資するボランティア活動のきっかけ作りと担い手の育成のための講習会を開催する。

「京都鴨沂会文化教室」

茶道教室 華道教室 能楽教室 香道教室

紹ざし教室 ハワイアンフラ教室

## イ 地域活性化に資する自主的グループ活動の支援

学習効果を地域に還元する実践プログラムを自主的に創りあげる活動の側面的なサポートを本会が行う。

地域活性化に資する自主グループ活動に協賛金としてあるいはボランティア活動助成金として必要経費の一部を支援する。

## ウ 高齢者福祉ボランティア活動の推進

ボランティア活動の情報提供と実践のための福祉教育および福祉ボランティア活動のコーディネートを行い、ボランティア活動助成金として必要経費の一部を支援する。

## エ 京都市鴨沂会ボランティア活動助成金

## 工 留学生の伝統文化学習と生活適応のための支援活動

文化教室で培った伝統文化の知識と手技をコミュニケーションツールとして外国人留学生に対する日本伝統文化の教育に寄与し、生活適応上の指導助言など留学生支援により国際理解を深め地域社会の活性化に貢献する。

## ロ 高校留学生のための日本伝統文化体験学習会

## リ 外国人のための日本伝統文化教室

新型コロナウイルス感染症拡大時には、接触を回避できない教科は休講し、身体的距離を取ることができる教科は、感染症対策を行い開講する。高齢者福祉ボランティア活動の推進および留学生の体験学習会は、高齢者施設の集会制限および留学生の移動制限を伴う新型コロナウイルス感染症防止対策実施中は活動を制限する。

## (公3) 生涯学習を支援するための公開講演

学術・芸術・文芸・環境・医療・福祉等に関する公開講座を開催し、地域住民の生涯学習を支援し地域の文化振興に資する

とともに、福祉教育を普及し地域包括高齢者福祉に貢献する。

## 教養講座の開催

第56回・第57回教養講座の開催

対面による講座の開催と共にオンライン配信を検討する。

## (公4) 文化芸術及び生涯学習支援等の情報提供

公益法人としての事業活動の一般への開示の目的に加えて、伝統文化、芸術、環境、福祉に関する論文を有識者による編集委員会により編集し、文化芸術及び生涯学習支援のための情報提供とともに教育史、女性史の資料として文化振興に貢献する。

## 鴨沂会誌の刊行及び保存管理

### 「鴨沂会誌159号の刊行」

「会誌および史料の保存管理」

明治20年以來の150冊を超える鴨沂会誌全巻とともに編集資料（歴史的写真とそのデジタルアーカイブ、生徒の作品、京都府立女学校旧校舎、鴨沂高校校舎の設計図）の保存管理を行う。

## II 会報の刊行その他会員向け事業

### ア 鴨沂会報の刊行

法人活動及び会員の近況を会員へ報告する目的で編集し、全会員に配布する。

なお、鴨沂会館史料室に保存して、閲覧可能。

### 「鴨沂会報第18号の刊行」

### イ 会員総会の開催

法人活動の報告のための「京都鴨沂会年会における会員総会」を開催する。

・第132回京都鴨沂会年会における会員総会の開催は自粛する。

### Ⅲ 収益事業

#### ホール、会議室及び駐車場の賃貸

鴨沂会館のホール及び会議室等はオーケストラ、室内楽、コーラス、舞踏などの常設練習場、講演会、会議、伝統芸能の教室として文化・芸術活動支援をする。また、利用者の便宜と安全のため駐車場を整備し一般の利用に供する。

新型コロナウイルス感染症拡大防止緊急事態宣言発出時には、外出の自粛、催物（イベント等）の開催制限、施設の使用制限等の要請に従ってホールや会議室の利用を制限する。緊急事態宣言解除後は、感染症対策に留意し、賃貸事業を継続する。

公益事業である自主開催の講演会や文化教室、収益事業である各種文化団体（合唱団、交響楽団、劇団等）への貸室事業をコロナ禍においても継続出来るように、館内のICT化と、貸室管理や経理業務のICT化、リモートワーク化を実施する。

### Ⅳ 理事會

理事会を対面或いはオンライン会議として開催する。  
定款第5章第22条に従って3ヶ月に1回以上、理事は自己の職務執行状況を報告する。

#### 各種委員会

随時、対面或いはオンライン会議として開催する。

### ウ 會計

定款第7章の規定に従って基本財産及び運用財産を管理し、年度前に事業計画及び収支予算書等を作成する。事業年度終了後には、事業報告及び収支決算書等を作成し、監事及び公認会計士の監査を受けて所管庁に報告する。

### エ 事務

法人業務、公益目的事業及び収益事業の事務処理及び鴨沂会館の管理を担当する。

・感染症拡大時期には事務員は可能な限りリモートワークとし、役員との連絡は、電話及びメールとする。

### Ⅴ 法人業務

#### ア 令和4・5年度代議員選挙

定款第3章第6条に従って代議員31名を選ぶため正会員による代議員選挙を行う。

### イ 社会 議

#### 社員総会

定款第4章第14条に従って令和3年度定時社員総会及び令和4年度臨時社員総会を開催する。

日時・令和4年5月21日、場所・鴨沂会館

内閣府の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う公益法人の運営に関する見解に従って、社員総会の開催日程及び開催方法は柔軟に対応することになる。

### Ⅵ

#### 鴨沂会館の管理および整備

本館3階の外階段及びエレベーター整備を検討する。

# 令和4年度 公益社団法人 京都鴨沂会 収支予算書

## 収支予算書内訳表

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引	合計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1)経常利益					
①基本財産運用益	0	0	3,000	0	3,000
基本財産受取利息			3,000		3,000
②特定資産運用益	0	0	40,000		40,000
特定資産受取利息	0		40,000		40,000
③受取会費	1,000,000	0	0		1,000,000
正会員受取会費	1,000,000		0		1,000,000
④事業収益	450,000	11,280,000			11,730,000
講習会収入	450,000	200,000			650,000
貸室事業収入		10,080,000			10,080,000
賃貸料収入		1,000,000			1,000,000
会誌事業収入	0				0
⑤受取寄付金	500,000	0			500,000
受取寄付金	500,000				500,000
⑥雑収益	0	240,000	1,500		241,500
受取利息	0	0	1,500		1,500
雑収入	0	240,000			240,000
経常収益計	1,950,000	11,520,000	44,500	0	13,514,500
(2)経常費用					
①事業費					
事業経費					0
給料手当	1,312,500	2,152,500			3,465,000
福利厚生費	5,625	9,225			14,850
通信運搬費	65,000	130,000			195,000
消耗什器備品費	6,500	13,000			19,500
消耗品費	91,000	182,000			273,000
修繕費	405,000	1,087,500			1,492,500
製本印刷費	1,000,000	0			1,000,000
光熱水料費	740,000	1,250,000			1,990,000
租税公課	1,170,000	1,040,000			2,210,000
旅費交通費	128,000	128,000			256,000
雑費	36,000	36,000			72,000
減価償却費	2,295,000	2,040,000			4,335,000
損害保険料	45,000	40,000			85,000

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引	合計
広 告 費	0	50,000			50,000
業 務 委 託 費	666,000	1,125,000			1,791,000
文 化 事 業 費	1,300,000	0			1,300,000
教 育 援 助 費	2,000,000				2,000,000
資 料 保 管 費	20,000				20,000
事業費計	11,285,625	9,283,225			20,568,850
②管理費					
給 与 手 当			35,000		35,000
福 利 厚 生 費			150		150
会 議 費	0	0	14,000		14,000
光 熱 水 料 費			10,000		10,000
通 信 運 搬 費			5,000		5,000
旅 費 交 通 費	0	0	64,000		64,000
租 税 公 課	0		390,000		390,000
消 耗 什 器 備 品 費			500		500
消 耗 品 費			7,000		7,000
修 繕 費			7,500		7,500
総 会 費	0		90,000		90,000
減 価 償 却 費			765,000		765,000
事 務 委 託 費	0	0	480,000		480,000
損 害 保 険 料			15,000		15,000
業 務 委 託 費			9,000		9,000
慶 弔 費	0		30,000		30,000
管理費計	0	0	1,922,150		1,922,150
	0				0
					0
経常費用計	11,285,625	9,283,225	1,922,150		22,491,000
評損調整前当期経常増減額	△ 9,335,625	2,236,775	△ 1,877,650		△ 8,976,500
特定資産評価損益等	0				0
評価損益等計	0	0			0
当期経常増減額	△ 9,335,625	2,236,775	△ 1,877,650		△ 8,976,500
2 経常外増減の部					0
(1)経常外利益					0
他会計からの繰入額					
建物維持引当資産積立	0			0	
経常外収益計	0	0		0	0
(2)経常外費用					0
他会計への繰出額		0		0	0
建物維持引当資産積立	0	0			0
	0				0
経常外費用計	0	0		0	0
					0
当期経常外増減額	0				0
税引前一般正味財産増減額	△ 9,335,625	2,236,775	△ 1,877,650		△ 8,976,500
当期一般正味財産増減額	△ 9,335,625	2,236,775	△ 1,877,650		△ 8,976,500
一般正味財産期首残高	0	0			0
一般正味財産期末残高	0	0	0		0
Ⅱ 指定正味財産増減の部					0
当期指定正味財産増減額					0
指定正味財産期首残高					0
指定正味財産期末残高					0
Ⅲ 正味財産期末残高	0	0	0		0